

令和7年度 第10回浦川原区地域協議会 次第

日 時 令和8年2月24日(火)
午後6時30分～

会 場 浦川原コミュニティプラザ
市民活動室4・5

1 開 会

2 報 告

- (1) 令和7年度浦川原区地域協議会委員研修会の開催結果について・・・資料 No.1
- (2) 令和8年度地域独自の予算事業の一覧について・・・資料 No.2

3 その他

4 次回の開催日について

日時 _____ 月 _____ 日 () 18時30分から

会場 _____ 浦川原コミュニティプラザ 市民活動室4・5

5 閉会

令和7年度浦川原区地域協議会委員研修会の開催結果について

1 日 時 令和8年1月27日(火) 18:30~20:00

2 場 所 浦川原コミュニティプラザ 市民ホール

3 出席者数 44人(職員含む)

4 研修会要旨

(1) 開会挨拶(北澤会長)

- ・現地域協議会もこの春で2年が経過する。まず、浦川原区の現状を知るために、視察・研修、意見交換を通じながら、協議を重ねてきた。
- ・本日の研修で、浦川原区の現状を再認識し、委員同士で共通認識を持ちたい。残り2年間で活動の具体化に向け、活発な協議をお願いしたいと思っている。
- ・浦川原区では新しい団体「こちらは広報うらがわらです」が動き出している。本日はその活動紹介を予定しており、地域協議会としても可能な限りバックアップをしていきたいと考える。

(2) 「こちらは広報うらがわらです」活動紹介(春日代表)

- ・「こちうら」は令和5年度に始まった持続可能なまちづくりを考えるワークショップを通じて立ち上がった団体である。
- ・令和7年11月には「昭和ふえす」というイベントを開催した。あいにくの雨にも関わらず、162名の来場があり、イベントとして成功を収めることができた。イベントを開催するにあたって、多くの事業者からご協賛をいただいたことに対し、この場を借りて感謝申し上げる。
- ・今後は、SNSと浦川原区総合事務所の広報誌「だんらん」を活用した情報発信や、地域を盛り上げるようなイベントを企画していきたい。
- ・定住促進も掲げているが、あまり深くは考えず、楽しく浦川原を盛り上げていきたい。思いがある人はぜひメンバーに参加していただきたい。

(3) 講演(上越市創造行政研究所藤山所長)

テーマ: 浦川原から未来へ!! 持続可能な地域づくりを目指して

<浦川原区の現状と人口安定化のシナリオ>

- ・人口分析の結果、20代を中心に多くの世代で流出がみられ、特に30歳前後の女性の流失が課題である。このままでは、5年~10年で小・中学生が半減する可能性がある。

- ・出生率を現行の1.09→1.80に向上し、定住増加目標を現人口の1.3%（20代前半男女5組、20代後半女性1人、30代子連れ夫婦5組、60代帰郷夫婦5組）とすれば、30年後の人口が現在の7割以上で安定し、小・中学生の人口も現水準に回復する見込み。

<同規模地域の先進事例>

- ・広島県三次市では、20代・子連れ世帯の流出超過が大きかったが、5年でアラサー女性と子連れ世帯の流入超過を実現した。
- ・地域内の縦横連携、人を繋ぐキーパーソンの存在、また、地域全体を巻き込む取組（子ども食堂、オープンスクールなど）が成功の鍵となった。

<浦川原区のお達成度>

- ・浦川原区の高齢者（特に男性）の医療費・要介護率が低く、健康寿命が高いことが浦川原区の強みである。この要因について研究し、地域資源として発信していただきたい。

<人と人をつなぐ「広場」が大切>

- ・地域住民を取り巻くネットワークは、人口減少以上に急速に減少する。海外の事例だが、どんなに小さな村でもパブ（サードプレイス）が必ず存在している。自宅・職場に加え、新たなコミュニティーの場が必要である。

<未来の地域構造>

- ・拠点が分散していると、人と人との出会いが生まれにくい。中山間地域に住んでいる人を、中心地に集めるのではなく、拠点や物流の仕組みなどを複合的に合わせて行うことが重要である。
- ・雪国特有の条件も考慮した生活モデルづくりが必要である。

<21世紀の石高と疎開保険>

- ・江戸時代には新潟県が最も人口が多かった。これは、持続可能性の高さを示す強みでもある。
- ・今後30年で、南海トラフ地震の発生確率は80%と言われている。もし大地震が起きたときに日本を救うのは山間部と日本海側であり、10年以上前から疎開保険を後押ししている。

<まとめ>

- ・歴史の中で自然災害など多くの危機があったが、地域の連携により乗り越えてきた。浦川原区全体で良い連携を築き、この時代を乗り越えるために1つでも2つでも新たなものを生み出してほしい。研究所としても協力していきたい。

(4) 閉会挨拶（小野副会長）

- ・地域協議会として、多くの刺激を受ける研修であった。今後の活動に活かすためにも、地域の皆さんからもいろいろな助言をいただきながら進めていきたい。

【浦川原区】令和8年度地域独自の予算提案事業一覧

資料No. 2

※令和8年度予算は、令和8年第2回(3月)上越市議会定例会での議決をもって成立します。

単位:千円

No	事業名	実施団体	事業目的	事業費		
				総事業 (今年度実績)	予算額 (今年度実績)	自己負担額 (今年度実績)
1	第17回浦川原和太鼓祭事業	特定非営利活動法人保倉川太鼓	日本古来の「和太鼓」を通じ、我が国の伝統文化と和の心を当地浦川原から発信することで、我々が住むこのまちを「人と地域が元気なまち」にする。	979 (915)	863 (799)	116 (116)
2	うらスポマラソン大会事業	特定非営利活動法人うらがわらスポーツクラブ	誰もが参画でき、青少年の育成や市民の健康増進につながるスポーツ環境に寄与する。	1,300 (1,216)	325 (325)	975 (891)
3	うらがわら雪あかりフェスタ事業	うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会	本イベントを通じて区内における交流と区外からの誘客を進めるとともに、雪と親しみながら地域活力の向上を図ることを目的とする。また、市が開催する「灯の回廊」の参画(連携)イベントとして市全体の観光振興に寄与する。	598 (780)	537 (702)	61 (78)
※事業実施前なので、予算要求時の金額を掲載。						